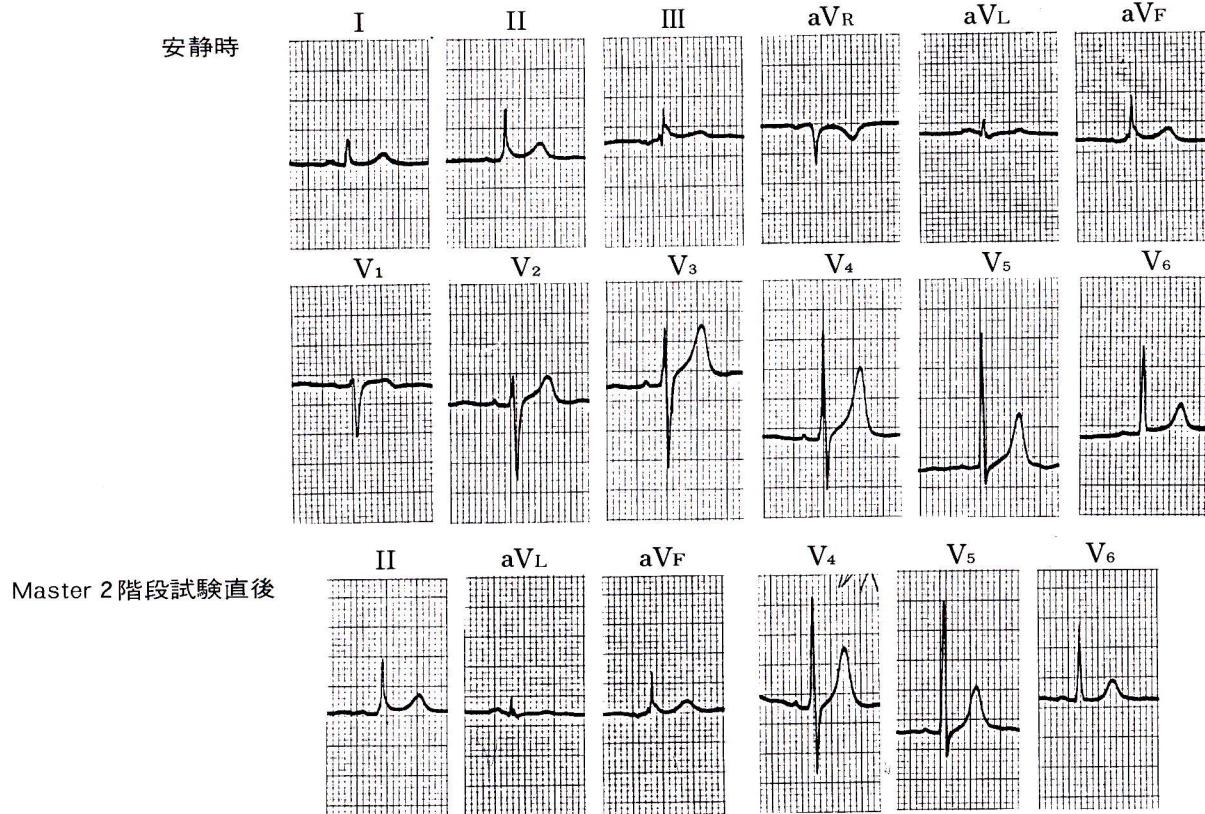


# 症例 69

●58歳 男

●ときどき特別な誘因なく前胸部に針で刺すような痛みを覚える。



1) 運動負荷心電図は陽性か。

## (安静時)正常 (負荷後)負荷陰性

安静時心電図では、とくに異常所見を認めない。II, III, aVF, V<sub>1</sub>～V<sub>4</sub>に軽いST上昇を認めるが、病的なものではない。負荷直後的心電図では負

荷前と比較して有意なST, T波の変化を認めず、負荷陰性である。

## MEMO

## 〈運動負荷試験の判定基準〉

152

負荷方法としてはMasterの2階段試験が一般的である。これは年齢、性別、体重により決められた回数（171～172ページ参照）だけ、高さ9インチの2階段を昇降するものである。

判定基準は諸家により少しずつ異なったものが提唱されているが、われわれは左記のMasterのdouble two step testの基準に準じている。

Master's double two step testの基準

- 1) STの水平～下向型低下 0.5mm以上
- 2) STのjunction型低下 1mm以上で、かつ  
 $QX/QT \geq 0.5$ ,  
 $QT\text{ ratio} \geq 1.07$
- 3) 型に関係なく2mm以上のST低下
- 4) ST上昇、一過性のQ波出現、一過性の左脚ブロック、U波逆転、重症不整脈（一過性の心室頻拍、完全および不完全房室ブロック、心房性頻拍、心房細動、多源性、または3～4個の連発性心室性期外収縮の出現など）
- 5) 少なくとも1.5mm以上の陽性T波が1.5mm以上の陰性T波になる場合、陰性T波が1.5mm以上の陽性T波になる場合。